

取組名称	多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する。			団体設立後の経過年数	26年
応募取組主体名称	早稲田大学学生環境NPO環境ロドリゲス	活動地域	早稲田・新宿・長柄町・佐渡・鯖江・山形など	応募取組の活動年数	26年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / その他				
応募取組に関する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとつづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への想いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>当団体は、「環境×〇〇」をテーマに7つの企画に分かれて活動をしています。現在のテーマは教育、里山、地域活性、海、商品開発、早稲田、キャリアの7つです。このように、当団体はあらゆる環境問題に取り組むことができるプラットフォームになっています。また、企業や他団体、省庁とも積極的に交流を行い、多くのイベントに携わることで、環境問題に身をもって取り組み、環境意識を高める活動を頻繁に行っています。</p>
実績の要旨	<p>本年だけでも2つの賞を受賞していて、「早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター主催 ボランティアプレゼンコンテスト 2023 観客賞」と、東京キワニスクラブ主催の「第38回青少年教育省」を受賞しています。過去には、早稲田大学の学生や学生団体の最高栄誉である「小野梓賞」や、環境ロドリゲスの中の1つの組織である「REC」がこのグッドライフアワードを受賞したこともあり、こららの賞以外にも数多くの賞をいただいています。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	野外活動やゴミ拾いなどの直接的な活動から、教育イベントを通じた啓発活動まで、幅広く環境へ貢献している
	社会・経済への貢献	学生や他団体、企業等の多様なステークホルダーを巻き込み、地域コミュニティの環境意識の向上に努めている
	地域資源の活用	廃材を用いた商品開発や、佐渡の豊かな自然を活かしたツアーの考案など、有形無形問わず地域資源を活用している
	普及・汎用性	海や教育、商品開発などの幅広い分野を通して、多様なセクターとの繋がりを広げながら環境問題に取り組んでいる
	革新・ユニーク性	学生という唯一無二の立場から活動の人脈を広げ、7つの分野から広い視点で環境問題の解決を目指している
	継続性	1997年から続く強固な引き継ぎ体制に加え、オンライン活動も採用し、時代に最適な活動体制を整えている

展望の要旨	人々の環境意識を高められる組織になるべく、外部連携の強化を通して環境問題に取り組むネットワークを拡大する
-------	--